

「5998 型 無線誘導型ペースメーカ」の付属品 5873C 型サービスキット

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

- ・ セット・スクリュー
- ・ 六角レンチ

【使用目的又は効果】

5998 型無線誘導型ペースメーカは、無線誘導型の心房頻回刺激用ペースメーカで送信部及び受信部よりなり、受信部だけが体内に植込まれる。

本品 (5873C 型サービスキット) は、リードとペースメーカとの接続等において使用する。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) リードの端子をペースメーカのブーツ内に奥まで完全に挿入する。挿入されたリード・ピンの状態は点検口の端で確認できる。(図 1)

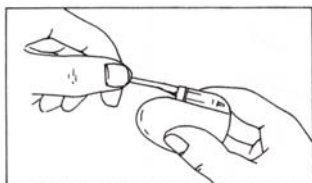


図 1

- 2) 白色の柄のレンチ(白色六角レンチ)を挿入し、セット・スクリューをペースメーカにかみ合わせる。リードを固定するために、抵抗を感じるまでレンチを時計方向に廻してセット・スクリューを締める。抵抗を感じるまでに最低 2 分の 1 回転はセット・スクリューを廻すことが可能である。1 回転以上廻しても抵抗を感じない場合は、リードが正しく挿入されていない可能性が高い。この場合、セット・スクリューを元に戻し、リードを挿入すること。

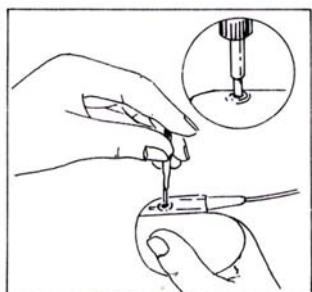


図 2

(白色六角レンチは過度の抵抗がある場合破損し、セット・スクリューのねじ山がつぶれないように設計されている。)

- 3) 非吸収性結紮糸(合成)を溝にそって、ブーツを締める。

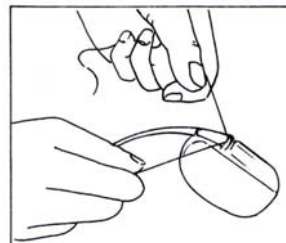


図 3

注意: 以下の 2 つのステップは、縫合を必要としないシーリング・リングを持つペースメーカに適用される。シーリング・リングはリード・コネクタの先端部にシールドされており、ぴったりと合うように設計されている。

- 4) リード・ピン観察部の端にはっきりと見えるまで、各リードの先端を各々のコネクタ内に押し込む。リードを挿入しにくい場合は、リードを入れる穴をのぞいてセット・スクリューが遠くにありすぎないかどうか調べる。この場合には六角レンチを挿入して、ちょうどリード・ピンの穴にさえぎるものがなくなるまで、セット・スクリューを反時計方向に廻す。(図 4)

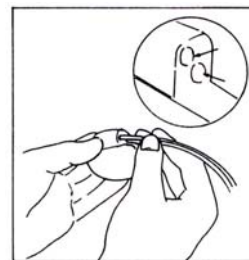
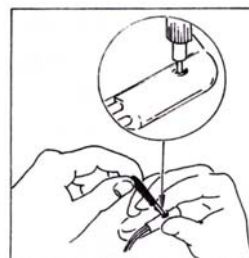


図 4

注意: この地点を越える程、反時計方向に廻し過ぎると、セット・スクリューがコネクタ・ブロックからはずれることがあることに留意すること。



- 5) グロメットに予め開けられている穴に六角レンチを通し、コネクタ・ブロックにはめてあるセット・スクリューにかみ合わせる。抵抗を感じるまでセット・スクリューを時計方向に廻し、リードを固定する。セット・スクリューは、ペーシングが始まる前にかみ合わせる。セット・スクリューが強く締まるまで、リードに摩擦が起きないようにする。

【保管方法及び有効期間等】

1. 有効期間

- 1) 有効期間は自己認証(当社データ)による。
- 2) 有効期限については外装表示参照。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 日本メドトロニック株式会社

カスタマーサポートセンター 0120-998-167

製造業者: メドトロニック社(米国)

[Medtronic, Inc.]